



2018年度 勉強に役立つ日本語クラス
報告書



神戸YWCA学院

日本語コース

1. 趣旨

近年、日本の公立学校で学ぶ外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が増えている。義務教育の現場で日本語が分からない生徒がクラスにいる場合、ただでさえ忙しい教師がさらにその子どもに十分に対応することは、日本語指導の面でもクラス運営でも難しい現状がある。

その対応として、県や市からの派遣によるサポーター・システムがあり、教員と児童生徒とのコミュニケーションを支援する「子ども多文化共生サポーター（兵庫県）」や「外国人児童生徒受入校支援ボランティア（神戸市）」による支援が行われている。しかし、支援日数が限られていること、また、支援に携わるサポーターやボランティアは通訳者であって、日本語指導者ではないことが課題となっている。地域によってはボランティア教室との提携による支援体制も整いつつあるが、学習時間は限られている。

子どもたちは、学校等で友だちができれば日本語で簡単な意思疎通ができるようになる。すると、教師、両親などは日本語を習得したと考えがちであるが、これは誤解である。

日本語は“話し言葉”と“書き言葉（いわゆる文章に表れる日本語）”が大きく異なる。友だちとのコミュニケーションができるからといって、“書き言葉”で書かれた教科書の日本語が理解できるわけではない。彼らに必要なのは、日本語を第二言語として構造から学ぶことである。“書き言葉”の文法や語彙を会得してこそ、教科書が理解でき、知識の習得ができるようになる。

神戸YWCAは1950年代から約60年にわたり専門学校として日本語教育を行ってきた実績と、効果的な日本語指導のノウハウを持っている。現在は公益財団法人としてより地域に密着し、多文化共生を実現するための活動を進める中で、地域に暮らす子どもたちの日本語支援にも力を注いでいる。2008年から始まった「勉強に役立つ日本語クラス」（旧：学校に入るための日本語クラス）は、夏休み3週間集中的に日本語の構造を学び、学校の授業につながる日本語を身に付ける機会となっている。資料代のみで授業が受けられ、数学・英語等の科目を学習するために必要な日本語も学ぶ。

また、心理面での困惑を抱えた子どもたちも多い。

多くが両親の都合等で来日しており、彼ら自身が日本に来た理由を納得できていない場合もある。神戸YWCAで3週間毎日同じような境遇の友だちと出会い、共に勉強することで、ここは彼らの「居場所」になる。日本語の理解不足により学校では表情の堅かった子どもが、間違った答えであっても平気で言える雰囲気がある。ほかの皆も同じだから、挑戦しようという気持ちになるのであろう。積極的に参加する彼らからは、「学習することが楽しい」と思っている様子が伝わってくる。

子どもたちのほとんどは、日本に定住し、将来社会に出ていく。その時に、持てる能力を活かし、日本人と共にこの社会を支える人になってほしい。

このような願いから「勉強に役立つ日本語」を実施している。



2. 内容

(1) 対象

学校の勉強のために、基礎的な日本語の勉強が必要な 13 歳から 18 歳くらいの外国にルーツのある子ども（日本国籍を持つ子どもも含む）。

(2) 日時

2018 年 7 月 30 日（月）～ 8 月 17 日（金） 全 15 日（土日・祝日は休み）

日本語：9:30～12:10

科目（数学・英語・地理）：12:20～13:20

(3) 学習内容

クラス1 短期集中型の日本語初期指導。基礎的な日本語を習得することを目的としている。

(5 人)

効果 今年は普通の生活における日本語はある程度理解することはできるが、自分の意思をきちんと伝えられない子どもが多かった。これまで使っている日本語をもう一度整理し、会話力を伸ばすための指導を行なった。

クラス2 日本語初期指導、および学習言語の指導。読解力を高めるための基礎作りを行う。

(6 人)

効果 会話は概ねできるが、日本語の音声と表記が結びつかず、表記が正しくできない子どもが多かった。また、日本語を読むことに慣れていない子どもも多く、聞いたことを正しく書く表記の練習、読む力を伸ばす指導を中心に行った。

科目 科目指導。科目の用語、学校で使われる日本語などを学び、科目学習につなぐ。

効果 英語、数学、地理、日本文化の科目指導を行った。英語、数学ではレベルを 2 つに分け、設問の指示文の理解や、英語や数学そのものへの理解を高めた。地理では日本の行政区分を学び、日本文化では学校行事を紹介し、国との相違点を皆で話し合った。

(4) テキスト

このクラスでは当初、市販のテキストを使っていたが、クラスの趣旨に合うものがなく、2013 年度から自主教材を作成し、毎年改定作業を行ってきた。

子どもが対象であること、短期間で集中的に日本語能力を伸ばす必要があることを考えたとき、市販のテキストを使用すると、一つひとつの文法項目を習得するのに時間がかかり、あっという間に 3 週間が過ぎてしまう。神戸 YWCA のオリジナル教材は、扱う文法項目をコンパクトにまとめており、短期間で効果的に日本語を身につけることができる。改訂作業を重ね、昨年度よりクラス 1 のテキスト、今年度からクラス 2 のテキストを 1 冊の本の形にし、コース初日に配布することができた。

また、普通の学校生活では意識されない「日本語の構造」に焦点を当てた学習ができるよう工夫されている。読解教材も、日本語教育の観点から日本語を外国語としてとらえて作成されており、読解基礎力がつく内容になっている。この 3 週間子どもたちが YWCA で学んだ日本語は、学校に戻った後も、きっと彼らに自信を与えてくれるものとなるだろう。

(5) カリキュラム表

	7月30日(月)	7月31日(火)	8月1日(水)	8月2日(木)	8月3日(金)
クラス1	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 名詞文 1~99 長音 	<ul style="list-style-type: none"> 名詞文 これ・それ・あれ 家族の紹介 100~999 拗音(小さいやゆよ) 	<ul style="list-style-type: none"> ～は どこですか 時刻の言い方 曜日 拗長音(きょう、しゅう etc) 	<ul style="list-style-type: none"> ～を 食べます他 時制(～ます、～ません、～ました、～ませんでした) 促音(小さいっ)、助詞(を、は、へ) 	<ul style="list-style-type: none"> 何をしますか ～へ 行きます、来ます、帰ります のりもの どうやって カタカナ ア～サ行、ン、長音
クラス2	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 形容詞の過去 ほしいです ～たいです 読解：品詞 	<ul style="list-style-type: none"> て形 てください 今～ています 読解：主語述語 	<ul style="list-style-type: none"> て形 てもいいですか ない形 ないてください 読解：接続詞1 	<ul style="list-style-type: none"> ない形 なければなりません た形 たことがあります 読解：接続詞2 	<ul style="list-style-type: none"> た形 たりたりします 辞書形 ～前に～ 読解：文章読解
教科	日本語	数学	地理	数学	英語
	8月6日(月)	8月7日(火)	8月8日(水)	8月9日(木)	8月10日(金)
クラス1	<ul style="list-style-type: none"> いくら(1万～) 形容詞1 カタカナ タ行～八行 	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞2 カタカナ マ行～ワ行 	<ul style="list-style-type: none"> ～が 好きです 助数詞(～人、～つ、～個) ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞過去 比較(どっちが～) ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> あげます /もらいます ディクテーション
クラス2	<ul style="list-style-type: none"> 友だち言葉(食べる・食べない 食べた・食べなかった) 読解：文章読解 	<ul style="list-style-type: none"> ～とき ～と思います 読解：総合読解 	<ul style="list-style-type: none"> ～に なります もし～たら いくら～ても 読解：総合読解 	<ul style="list-style-type: none"> 可能動詞 読解：総合読解 	<ul style="list-style-type: none"> 名詞修飾 読解：速読
教科	英語	数学	日本文化	数学	英語
	8月13日(月)	8月14日(火)	8月15日(水)	8月16日(木)	8月17日(金)
クラス1	<ul style="list-style-type: none"> ～が わかります ～が ほしいです ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> て形 ～てください ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 友だち言葉(食べる・食べない) ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 友だち言葉(食べた・食べなかった) ディクテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ポストテスト ～たいです
クラス2	<ul style="list-style-type: none"> 連用中止 読解：総合読解 	<ul style="list-style-type: none"> 受け身 読解：速読・内容把握 	<ul style="list-style-type: none"> 原因・理由の表現 読解：速読・内容把握 	<ul style="list-style-type: none"> ～という 複合動詞 読解：速読・内容把握 	<ul style="list-style-type: none"> ポストテスト もし自分の国をつくるなら。
教科	英語	日本語	日本語	日本語	修了式

(6) 授業見学会&修了式

8月17日(金)に授業見学会を実施した。ご寄付をいただいた方、子どもの所属する学校の先生、ボランティア教室の指導者等13人の方々に、「勉強に役立つ日本語クラス」の趣旨説明の後、日本語授業を見学していただき、続いて修了式に出席いただいた。さらに、修了式には7人の子どもの家族も一緒に参加した。修了式では、授業風景や休憩時間の写真のスライドショーを見た。日本語教師が子どもたちにインタビューを行い、子どもたちの感想を聞いた。

授業見学会のアンケートでは、「学校ではとても無口な〇〇さんもしっかり話していたので安心しました。」「日本語文法と国語文法の二つがあることを初めて知りました!」「実際に学習している授業の様子を見せていただき、どんなことが外国にルーツを持つ子どもにとって大事になってくるのかということの一端をうかがい知ることができたような気がしました。」「はっぴーすくーるに参加して、神戸YWCAが居場所になると嬉しいです。」などの感想をいただいた。

(7) プログラム修了後の支援 “はっぴー・すくーる”

「勉強に役立つ日本語クラス」が終了した後も継続的なプログラムを実施することで子どもたちがのびのびと自分らしくいることができる環境づくりを行っている。

月1回(原則第2土曜日)、クラスを修了した子どもたちが再び神戸YWCAに集う居場所づくりを目指す。通っている学校の様子や進学について、おしゃべりをしたり、みんなでゲームをしたりして楽しい時間を過ごす。

また、毎週土曜日に開催されている学習指導は、苦手な教科を日本語指導のできる教科担当教師と共に学ぶ。夏休み期間中にも5回実施した。「勉強に役立つ日本語クラス」の昨年度までの修了生と、今年度のプレイメントテストの結果によりお断りをした子どもたちに参加を呼びかけ、延25人の子どもたちが参加した。

(8) 地域とのつながり

神戸YWCA近隣地域のイベントに参加し、地域の方々と交流しつつ、日本の夏祭りを経験した。

○二宮市場 夏祭り 7月21日(土)

はっぴー・すくーるに通う、昨年度までの「勉強に役立つ日本語クラス」の修了生が参加した。

神戸YWCAの生徒はポップコーン売場を担当した。

○若菜地区 夏祭り 8月19日(日)

今年度の「勉強に役立つ日本語クラス」の修了生が集まり、祭りに参加した。

(9) 課題

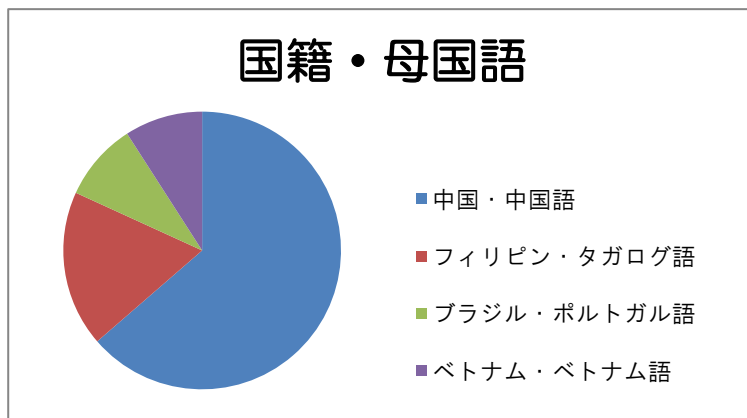
「勉強に役立つ日本語クラス」を実施している休みの3週間以外の時期に来日する子どもへのサポート体制の確立が必要である。現在、既存の神戸YWCA学院日本語コースのレギュラーコースやプライベートレッスンで対応できる子どもは少数であり、また来日時期がさまざまであるため、新しいクラスを設置することも困難である。

今後も「今すぐに日本語学習支援が必要な子どもがいる」という問い合わせがあったときに、いつでも日本語学習の初期指導ができる体制づくりが必要となる。

3. 参加者の国籍等について

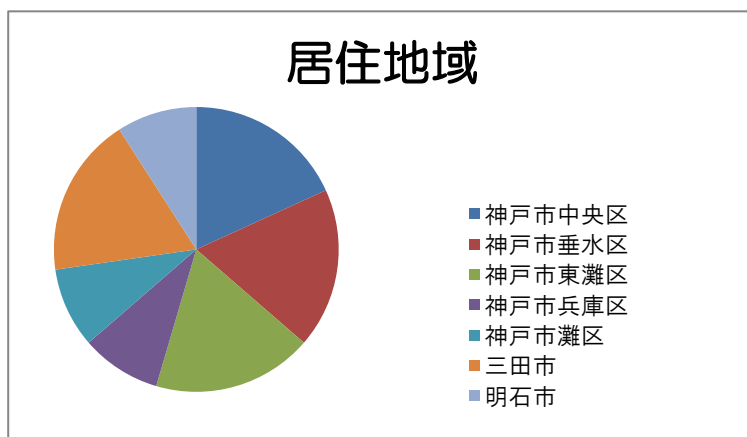
(1) 国籍・母国語

- 中国・中国語 7人
- フィリピン・タガログ語 2人
- ブラジル・ポルトガル語 1人
- ベトナム・ベトナム語 1人



(2) 居住地

- 神戸市中央区 2人
- 神戸市垂水区 2人
- 神戸市東灘区 2人
- 神戸市兵庫区 1人
- 神戸市灘区 1人
- 三田市 2人
- 明石市 1人



全 11 人

(3) 学習者の集め方

- ・子どもたちの所属する学校からの申し込み
- ・地域のボランティア教室からの紹介
- ・兵庫県国際交流協会、神戸市教育委員会などからの紹介
- ・保護者からの申し込み
- ・「勉強に役立つ日本語クラス」修了生からの紹介



4. 実績

(1) 出席状況

出席率 98% (主な欠席理由は、病気のため。)

(2) プレイメントテストについて

支援の必要な子どもたちをサポートできる効果的なクラス編成のために、プレイメントテストを実施している。

内容は、①ひらがな・カタカナ、②漢字、③文法、④読解 ⑤インタビューの5種類である。

今年度は27人が申し込み、23人が受験した。そのうち13人で2クラスを作った(クラス1は6人、クラス2は7人)。

また、来日して間がなく、日本語がどんな言語かわからない子どもの応募が多かったため、日本語の聞き取りができ、話す力のある14人は断わらざるを得なかった。そのような子どもたちには「夏のはっぴー・さぽーと」への参加を呼びかけた。2人の子どもが参加し、苦手科目や、夏休みの課題に取り組んだ。

(3) 学習者の声

これまで話していた日本語に
ルールがあることに気が付いた！

YWCAでの勉強は、
先生の話す日本語の内容が
よくわかるので楽しかった！

YWCAで勉強して
友だちができて
とてもよかった！



YWCAで勉強した
日本語を
2学期からも
使っていきたい。

(4) 先輩の進学先

神戸YWCA学院日本語コースのレギュラーコース等を経て...

県立国際高校	県立東灘高校	徳島大学
県立神戸甲北高校	県立長田商業高校	甲南大学
県立西宮香風高校	県立芦屋国際中等学校	立命館大学
県立尼崎工業高校	県立芦屋高校	神戸大学工学部
県立舞子高校	兵庫県立大	鳥取大学 ほか

神戸市教育委員会・兵庫県教育委員会が主催する進学ガイダンスでは、毎年、「勉強に役立つ日本語クラス」の修了生が、後輩たちのために高校入試に関するスピーチやアドバイスを行っている。

5. 後援・協力団体等

(1) 後援

神戸市教育委員会 兵庫県教育委員会

(2) 寄付

◇寄付者名（個人）

足立穂波 井上みち子 岩佐光世 王子印刷工芸株式会社木下徳男 片山恵 亀井容子 川関敏恵
川辺比呂子 木村秀子 佐伯かをる 清水威秀 杉浦眞喜子 関正敏 大工原則子 武田多美 多
田昌史 玉岡昇治 玉越裕美子 茶本卓子 鶴崎祥子 手島千景 長野尚代 中原芙美 中道澄春
西川敬子 西村幸枝 野々村耀 橋本和子 東根順子 飛田えみ子 緋田忍 平山芳子 藤本紀子
三浦哲朗 宮田泰子・茂雄 矢木富美江 山崎恵 山本容子 吉川裕子 匿名（3人）

◇寄付者名（団体）

日本キリスト教団御影教会

◇助成団体

公益財団法人兵庫県国際交流協会

（2018年8月24日現在）

(3) 主な経費について

○講師給

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師により、日本語を第二言語として効果的に指導する体制での実施が必要である。

○テキスト作成費

前述のように、このクラスで使用するテキストは、神戸YWCAが独自に開発したオリジナル教材である。長年の日本語教育における経験に基づいた独自の視点で編み出されたテキストが、子どもたちの短期間での集中した日本語学習に大いに役立っている。

お問い合わせ

神戸YWCA 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692
e-mail: saito@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

（ワイ・ダブリュー・シー・エー
Young Women's Christian Association）は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。

